

住所 新宿区新宿5-17-17 渡斐ビル3F  
 電話番号 03-3232-2525  
 URL <http://www.ilovex.co.jp/>  
 発行者 株式会社アイロベックス

## 「リーダー、社員に求める「責任」、そして各人の考える「責任」とは？」

誰のために、何のために働くのか  
 杉山 淳子

### 責

任感があるというのは「自己中心的な観念」である。社員をみてみると、よく思うことだが、「自分自身が約束したこと」を守ろうとする気持ちがいかに異常に強いものである。しかし、それは、ときには会社やお客様、仕事への責任感とは繋がらない、むしろ逆の効果を生むこともあるのである。

自分が迂闊に約束してしまったことに、何かなんでも固執して守りぬこうとすることが同僚や仕事に結果として迷惑をかけてしまうことは多々あるのである。自分のちっぽけな自尊心を捨て、「誰のために仕事をしているのか」「何のために働いているのか」ということを常に考えていくことの中でしか、責任感は評価されない。



リーダーとしての責任について  
 大屋 千春

### ポ

ポジションを与えるとそのポジションにふさわしい人間になるということが、しばしばおこります。それはまさに、責任感が人を育てるという証明です。ポジションを与えられるというのは、何らかの期待をかけられたということ、それに応えようとするのが責任感だと思えます。

私が、リーダーとして考えるのは、責任のバランスです。仕事を任せることで、責任感が生まれるのは、右記のとおりなので、メンバーに仕事を任せます。任せる内容・タイミングも難しいですが、できなかつた場合の助ける内容・タイミングがより難しいと思います。

考えているのは、その言・お客さまに迷惑がかかることは、絶対にしない。その式・私が助けられると思うことは、なるべくやらない。言は当たり前のことです。式は、自分ができるとはやりたくなってしまう+過剰にやってみようからです。まだまだ、私が未熟だということの表れでしょう。

一歩でも先を見ること  
 軽部 豊

### 業

務においての責任とは「視野を広く、常に先のことを考えること」ではないかと私は思います。新入社員や若い社員からも見た場合、何か問題が起きたとき、必死に向き合っただけで対応している先輩や上司の姿勢に責任能力があると思えないがちな気がします。

確かに責任能力のひとつであるとも思えます。しかし、それは未然に防げたことではないでしょうか？防げないこともありますが、これらの場合、良く考えてみると防げる内容がほとんどです。

そのような問題が起きた場合の周囲への迷惑を考えれば未然に防いでいたり、何らかの対応を考えたりしている人のほうが責任能力があると思いませんか？

プログラマーであれば、限られた時間の中で品質の高いものを作ることであったり、SEであれば業務知識、お客様との「コミュニケーション」など、それぞれの役割にそれぞれの責任が必要になります。

責任とはある特定の部分を指すのではなく物事の全体を正しく捉



リーダーというポジションを与えられても、そのポジションにふさわしい人間になることは、難しいです。ただ、一年前の自分を考えると、リーダーに近付いているのではないかと思つて(願つて)います。

### 社員の顔が見えるブログ公開

黒木 優

アイロベックスのホームページに新しいコンテンツ「システム開発ブログ」を公開しました。

このブログは、前身である「部署別ブログ」「チームブログ」のように、各部署・各チームそれぞれのメンバーが業務で学んだこと、考えていることを記すブログです。

主に、私たちが携わっているシステム開発をテーマとしています。業務に関することすべてを対象にしているアイロベックス

↓システム開発ブログはこちらから↓  
<http://www.ilovex.co.jp/blog/system/>



の社内を垣間見ることができないではないでしょうか。部署別ブログでは、弊社のようなシステム開発に携わる多くの方から支持をいただき、「コメントをいただく機会がありました。」この「システム開発ブログ」も「取り巻くすべての人々に幸せを与えられる」(↑弊社ビジョンより引用) ブログを目指して成長させていこうと考えています。左側メニューの下部にはフィードの配信と、検索ボックスを配置しています。最新の記事をチェックしたい方はフィードの購読を、興味のある内容を探したい人は検索をご利用いただければ幸いです。

←注目ブログ記事←  
 『プログラムを効率的に読む』  
 『Webサイト開発者にも便利になったInternet Explorer 8.0』

ゲームにピアノ演奏に大盛り上がりのお会でした。なにより、こんなに暑い中でも、社員たちのこの笑顔！←←



今年もアイロベックス社員たちは無事に夏を乗り切れそうです。こんな笑顔の耐えないアイロベックスを皆様よろしく願いいたします。

### 編集後記

今回は、デザインを変えてお届けします。「責任感」をテーマにし、記事にしました。各自の状況によって異なる部分もありましたが、基本的な考えは皆同じなのかなと感じました。

総合編集：エリザベール石塚  
 デザイン：シンジャー 道の駅牧野  
 写真：ツマモ「モボクモ黒木



一つの責任を全うする  
 松本 智子

責任を持って仕事をやり遂げるといことは、自分ひとりで全て解決し、作業を完了できることはありません。

先輩の力やインターネット、本など、自分以外の力も使いながら求められた期日までに、求められている以上のものを完成させることだと思っています。そのためには、今自分がどういう行動をとるべきかを判断できる力が、必要だと思えます。

私自身プログラムを組む中で、まだまだ技術力が足りずに詰まっ

てしまうことや、実装方法で悩んでしまうこともあります。その際には調査をしたり、先輩に相談したり、期限に間に合うよう、そしてより良いものを作れるようにと行動します。先輩の立場としては、後輩の相談に乗ったり進捗を確認したりと任せたい仕事をしっかりとやり遂げてもらえるように行動します。プログラム一本、作業一つに対する責任は、プロジェクトや仕事という大きな枠では、まだまだ小さなものかもしれません。しかしその責任を全うできるようにすることで、更に大きな責任も任せられる力がつくのだと思えます。また、一つの責任を一人ひとりが全うすることで、プロジェクトや仕事という大きな責任が全うできるのだと思えます。

